

質問 障害者の自立を促すための、親亡き後に障害者が自らの力で生活ができるような場が多く求められている。①市内に就労継続支援A型事業所の設置を。②令和5年度より実施している地域開拓促進コーディネーターの活動状況は。

答弁 ①事業者へ設置を要望しているが開設に至っていない。②職場開拓や雇用に関する企業への助言等を行ったもので理解している。行っており、6人の新規雇用につながっている。引き続き新規事業の開拓や就職後の相談、助言等を実施し障害者雇用の促進に努めていく。

質問 昭島駅北口周辺の開発事業について、最新の事



障がい者支援の取り組みや現状について

自由民主党昭島市議団 小林こうじ 議員



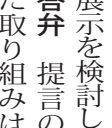
昭島市の表彰制度について

公明党昭島市議団 吉野智之 議員

質問 八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるにあたり、その教訓を後世に残すことが大切と考える。事故を風化させない取り組みとして、小学校の副読本への記載やアキシマエンシス等での写真等の展示を検討しては。

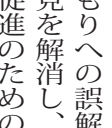
答弁 提言のあった取り組みは今後の検討課題とするが、凄惨な事故を決して風化させることなく、後世にしっかりと伝えていきたいと考える。

質問 小学校の学校司書等



八高線多摩川列車転覆事故から80年を迎えるについて

自由民主党昭島市議団 木崎親一 議員



8050問題・障がい者雇用の積極的な推進について

無党派 なかおフミト 議員

質問 8050問題について、①ひきこもりの当事者を支援するため、早急な実態把握を行うべき。実施の予定は。②ひきこもりへの誤解や偏見を解消し、理解促進のための広報活動を行っているのか。

答弁 ①昨年度調査を実施したが、次期調査の時期や方法等については検討していく。②既に講座の開催等を行っているが、今後、近隣市との広域連携による取り組みなど、幅広く検討していく。

質問 障害者雇用について、市が模範を示し、積極的な雇用をすることが重要と考える。①障害者がその能力を発揮し、職業の安定を図るための具体的な取り組みは。②他市の事例を参考に、市職員への研修制度を導入する考えは。③配属部署のない。

令和5年度政務活動費収支報告

(単位：円)

会派名	自由民主党昭島市議団	公明党昭島市議団	日本共産党昭島市議団	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団	みらいネットワーク	無党派		
会派の議員数(人)	6	5	3	3	2	1	1	1
交付額	1,320,000	1,100,000	660,000	660,000	440,000	220,000	220,000	220,000
支出額	960,959	1,048,821	573,531	663,325	356,478	226,186	239,715	57,735
(内訳)	調査研究費	783,651	874,310		187,029	2,142		
	研修費		4,424		16,800	214,804	48,350	
	広報費			549,890	437,599			
	広聴費	260	147	1,459		481		
	要請・陳情活動費	7,360	8,694					
	会議費							
	資料作成費	169,688	78,256	12,540	21,897	39,236	83,115	44,284
	資料購入費		82,990	9,642		306,761	9,240	108,250
	人件費							
	事務所費							
返還額(交付額－支出額)	359,041	51,179	86,469	—	83,522	—	—	162,265